

## 審議会等会議録

審議会等の名称	令和 6 年度 山口市健康づくり推進協議会
開催日時	令和 6 年 7 月 2 4 日（水曜日） 14：00～15：00
開催場所	山口市保健センター 集団検診室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	塩見浩太郎委員、田邊亮委員、市川洋一郎委員、安元重実委員、岡幸夫委員、大田修三委員、若崎敬子委員、福田和子委員、松野下真委員、有富隆史委員、角田憲治委員、木村克己委員、奥原淑恵委員、佐藤光恵委員、春永亜由美委員、紀村修一委員、岡本鉄平委員（17名）
欠席者	西村いずみ委員、土井克彦委員、眞城信委員、兼安真弓委員、高橋幸広委員、野村愛委員（6名）
事務局	健康福祉部長、健康増進課長、同課副参事 3 名、同主幹 2 名、同主査、同主任、子育て保健課長、同主幹（11名）
議題	1 開会 2 議題 （1）令和 5 年度保健事業報告 （2）山口市健康づくり計画について （3）令和 6 年度保健事業計画
内容	1 開会 【健康福祉部長挨拶】  【委員及び事務局の紹介】 別紙名簿のとおり  【会長及び副会長の選出】 立候補や推薦はなく、事務局案について出席者の了承あり。下記のとおり選出された。 会長 塩見浩太郎委員（山口市医師会） 副会長 若崎敬子委員（山口市食生活改善推進協議会）  2 議題 （1）令和 5 年度保健事業報告 資料 1 事務局から、資料に沿って説明。 【質疑応答】 < A 委員 > これまでの事業で参加者の声やアンケートの回答等から、反応の良かったものが

あれば教えてほしい。

<事務局>

歩数アップサポート事業は従来の参集型とは異なり、参加者自身で目標を設定して取り組んでいただき、目標達成に向けて保健師が支援していくもの。自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができ、今後の生活の中でも定着して取り組んでいきたいといった声があるなど、アンケート等での反応も良い。

(2) 山口市健康づくり計画について 資料2

事務局から、資料に沿って説明。

【質疑応答】

なし

(3) 令和6年度保健事業計画 資料3

事務局から、資料に沿って説明。

【質疑応答】

<B委員>

成人歯科保健事業の拡充について。対象年齢を拡充することに伴い、統計の取り方について、これまでどおり単純に受診者数のみを報告として出すのか。比較ができなくなるため、40歳以上の受診者数を再掲として報告するのか、考えを教えてください。

また、1歳児の幼児健康診査について、歯科も関係があるのか。

<事務局>

実績報告では、今回の拡充部分とこれまでの対象者の違いがわかるよう、資料の中で表現する。

1歳児の健康診査は8/1より開始予定。乳児健康診査の延長として、県の乳幼児健康診査マニュアルに基づいて小児科の健診が主な内容であり、歯科健診は含まれていない。従来どおり、歯科健診は1歳6か月児健康診査からということでご了承ください。

<C委員>

子宮頸がんワクチンについて、キャッチアップ接種が今年度で終了することに対して医師会としても焦って協議をしているところ。キャッチアップ世代のみでなく、中高生も対象になると思われるが、学校へのはたらきかけはどのようにしているのか。

<事務局>

定期接種もキャッチアップ接種も含め、厚生労働省が昨年度アンケート調査を実施した結果、行政機関から直接、封書等での案内を送ることが1番の動機となったことがわかっている。本市としても、昨年度までは5月頃に個別の案内を送付

	<p>していたが、今年度は4月末には発送している。また、一般的な無地の封筒で送付していたが、今年度は封筒にも接種期限を印刷することで、目に留まるような形で送付している。さらに、例年は年度当初のみの送付としていたが、今年度は7月に未接種者を対象に、ハガキでの再勧奨を行っている。個別に学校を通じた勧奨方法については、実施していない。個別勧奨に力を入れて実施している。</p> <p>&lt;C委員&gt;</p> <p>ハガキということだが、あまり見られていないのではないか。全員に届くのかは疑問であり、あらゆるチャンネルを用意するべきではないかと思う。当院でも接種に来られた方には友人にも勧めるよう話しているが限界があると感じている。もっと大きな対象にアプローチできる方法はないか考えているところではある。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>小中学生ではないが、キャッチアップ接種の対象世代として、山口県立大学と連携し、大学の健康週間に合わせて、キャッチアップ接種の周知について協力をしていただいている。そういったところでの効果が表れると期待している。これ以外の場面での接種率向上について、様々なご意見を踏まえて対応していきたい。</p> <p>&lt;D委員&gt;</p> <p>目が今問題となっている。統計上、視力1.0未満の小学生が37%、中学生では60%、高校生では70%という現状。宮野小学校で、目の運動により運動能力があがるかという検証をしている。目の意識を高めることで、運転能力が上がり、寝たきりの原因となる転倒予防にもつながるため、目に対する意識も高める取り組みをしていただけるとよい。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。目の健康についても検討していきたい。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>今回いただいた貴重なご意見は、今後の保健事業に生かしていきたい。本協議会は、例年、年1回この時期に開催し、前年度の保健事業報告と、新年度の事業計画について協議している。引き続き、保健事業の推進についてご協力いただきますよう、お願いいたします。</p>
<p>会議資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和6年度 山口市健康づくり推進協議会次第</li> <li>2 山口市健康づくり推進協議会委員名簿</li> <li>3 令和5年度保健事業報告…資料1</li> <li>4 山口市健康づくり計画について…資料2</li> <li>5 令和6年度保健事業計画…資料3</li> </ol>
<p>問い合わせ先</p>	<p>山口市健康福祉部 健康増進課</p> <p>TEL 083-921-2666</p>